

日高町教育奨励表彰

平成21年度の日高町教育奨励表彰式が、2月23日に門別総合町民センターで行われました。

本年度は、読み聞かせの会「絵本のとびら」様が学校教育奨励表彰を受賞。

スポーツ奨励表彰は、小橋勇利さん(富川中3年)、森泰一さん(鶴川高3年-富川中出身)、柿田竜吾さん(旭川大学高校3年-富川中出身)の3名が受章されました。

受賞者を代表して、読み聞かせの会「絵本のとびら」代表の野澤みゆきさんが、「今日の感激を忘れず、これからも努力していきます。」と挨拶しました。



○ 学校教育奨励表彰 読み聞かせの会「絵本のとびら」様

～ 学校における読書活動と読み聞かせの実践 ～

読み聞かせの会「絵本のとびら」は、平成12年に発足以来、小・中・高等学校での読み聞かせ活動をおして、子供たちの読書活動の推進に努めております。

特に、最近では小学校低学年の「朝読書の時間」に毎週読み聞かせを精力的に行っております。

また、中学校の「幼児交流学習」では、読み聞かせの方法・技術・選本の仕方を指導したり、各種講習会等へ積極的に参加し研鑽を積まれております。

さらには、町内にとどまらず近隣町の小学校へも読み聞かせの活動を行っており、町民のみならず管内の関係者からも高く評価されております。

○ スポーツ奨励表彰 小橋 勇利 様

～ ツール・ド・北海道2009 高校生の部 総合優勝 ～

平成21年6月、広島県で開催された「ジュニア全日本選手権ロードレースU-17の部」で、中学生として最高の9位に入り、同年9月の「ツール・ド・北海道2009」に高校生の部での特別出場が認められ、タイムトライアル、ロードレース、クリテリウムの3種目すべてで準優勝を収め、見事総合優勝に輝く活躍をされました。

特に、同年11月には、全国の有力な高校生を集めて静岡県で行われた日本自転車競技連盟の強化合宿に、中学生ではただ一人テスト選手として招集されております。

また、現在は周囲にチームや指導者もない環境の中、自主的なトレーニングに励んでおり、卒業後、自転車競技では全国屈指の高校に進学し、初めて本格的に指導者について技術を磨く予定であります。

さらなる向上を目指す姿は、スポーツに励む多くの後輩に夢を与え、関係者からも将来を大きく期待されております。

○ スポーツ奨励表彰 森 泰一 様

～ 第61回 秋季北海道高等学校野球大会優勝 ～

平成20年9月・10月に開催された「第61回秋季北海道高等学校野球大会」では、5番ファーストとして地区予選から9試合に出場、見事優勝への原動力として、チームを甲子園出場に導く活躍をされました。

特に、同年秋から主将としてチームをまとめ、監督、仲間の信頼も厚く、昨年5月に日高町体育協会のスポーツ奨励表彰を受賞されております。

また、卒業後は大学進学を希望し、さらなる向上を目指す姿は、スポーツに励む多くの後輩の憧れであり、周囲の関係者からも将来を大きく期待されております。

○ スポーツ奨励表彰 柿田 竜吾 様

～ 第91回 全国高等学校野球選手権大会 北・北海道大会優勝 ～

平成21年6月・7月に開催された「第91回全国高等学校野球選手権大会北・北海道大会」では、チームのエースとして地区予選から7試合を一人で投げ抜き、見事優勝の原動力として、チームを甲子園出場に導く活躍をされました。

特に、甲子園では惜敗しましたが、相手の強力打線を2点に抑える好投は、町民のみならず多くの道民の記憶に残る素晴らしい試合内容でした。

また、卒業後は大学進学を希望し、さらなる向上を目指す姿は、スポーツに励む多くの後輩の憧れであり、周囲の関係者からも将来を大きく期待されております。

小学校開校式

平成22年3月、町内3つの小学校が開校します。
地域と共に築いてきた100年余の歴史を振り返って、
各小学校で開校式を挙行。
たくさんの卒業生が集い、昔を懐かしみました。



豊郷小学校

2月13日、地域の方々や卒業生、学校関係者ら約150人が参加し、開校式が行われました。
豊郷小学校は明治32年に開校し、110年の歴史があり、ピーク時の児童数は200名を超えておりましたが、年々減少して、現在は6名となりました。
式の中で坂本校長は、「いつの時代も地域と共に歩んできた。閉校になるが、この地の方々がかつてもこの地で育つ子どもを見守り、育ててくれることを願っています。」と挨拶。
児童を代表して、6年生の橋本美鈴さんは「あと少しでお別れ。豊郷小学校の児童であったことに自信と誇りを持って、あと1ヶ月、6人で学校での思い出をつくっていきます。」と挨拶しました。

～ 沿革 ～

- 明治32年(在籍数16名) 太田道之助の私塾として開設
- 明治33年(在籍数12名) 波恵簡易教育所として認可
- 明治44年(在籍数71名) 波恵高等尋常小学校の組織変更認可
- 大正14年(在籍数194名) 保護者会設立 青年訓練所併置
- 大正15年(在籍数207名) 高等小学校併置
- 昭和23年(在籍数151名) 豊郷中学校併置
- 昭和42年(在籍数80名) 豊郷中学校閉校



賀張小学校

2月27日、地域が組織する実行委員会主催の開校式が行われました。
賀張小学校は明治37年に開校、平成16年には100周年を迎え、盛大に記念式典が行われました。
しかし、時代の流れとともに、児童数が徐々に減少し、平成20年度は4名となり、平成21年度は休校を余儀なくされました。
105年の長き歴史の中では700名を超える卒業生を輩出されています。
閉校式では、閉校式の実行委員長である、米澤自治会長が「幼い頃の思い出の場所が消えていくことに寂しさはありますが、心の中にいつまでも刻まれます」と挨拶しました。

～ 沿革 ～

- 明治37年(在籍数14名) 賀張簡易教育所設置
- 明治42年(在籍数34名) 図画科を加設
- 明治44年(在籍数39名) 裁縫科を加設
- 大正2年(在籍数97名) 慶能舞教育所と合併、慶賀尋常小学校となる
- 大正11年(在籍数66名) 慶能舞教育所より分離、賀張尋常小学校となる
- 昭和3年(在籍数117名) 実科女学校併置
- 昭和23年(在籍数151名) 厚賀中学校賀張分校併置
- 昭和26年(在籍数80名) 厚賀中学校より分離、賀張中学校となる
- 昭和44年(在籍数42名) 賀張中学校閉校

昨年まで賀張小学校に在籍し、現在厚賀小学校5年生の川代凱斗くんも式典に出席しました。
「4年生までだったけれど、運動会やキャンプが思い出に残っています」と話していました。

